

第2学年 図画工作科学習指導案

1 題材名

「おはなし 大すき ―グラフィアロって なあに?―」 (絵に表す)

2 指導観

(1) こんな児童だから

本学級の児童は、1学期に「自分の顔をかこう」でパスや絵の具を使って画用紙いっぱいに表示したり、「たのしいこと見つけた」で毎日の生活の中で「いいな。」「おもしろいな。」と書いてわくわくしたことを思い出して楽しみながら絵に表示したりする活動を行っている。自分が見たものの形を思い出して自分なりに表現することは幾度となく経験している。しかし、空想の世界を想像して絵に表示することに関しては、活動経験の少なさから途中で自信をなくしたり、自分の思いをどう表現していいか戸惑ってしまったりする児童も見られる。

このような児童にとって、自分の思いを大切に想像力を膨らませて生き生きとした表現ができる力を身に付けさせることが必要だと考える。また、思い浮かんだことを友達と話し合い、かいたものを見せ合って互いの表現のよさや工夫を確かめ合い、励まし合いができる活動を経験させたい。

(2) こんな題材で

本題材は、お話を聞いて、物語の登場人物の様子を想像して自分なりに絵に表示することをねらいとしている。本題材は、A 表現の(2)ア・イと特に関連が深く、児童がお話を聞き、想像を膨らませながら登場人物の特徴や大きさ、位置を思い浮かべて、その子らしい表現の思いを形や色で表すことができる題材である。

本題材では、絵本「もりでいちばんつよいのは？」をお話として取り扱う。お話の中に、おそろしい生き物として出てくる「グラフィアロ」という空想の生き物を想像することは、子どもたちにとって興味深いであろう。「グラフィアロ」という空想の生き物として登場するので、自分のグラフィアロを表現できる。また、体の一部分しか語られていないので、語られた部分から想像を膨らませ、思いのままの形や大きさ、色を選んで楽しくかき表すことができる上でも意義深い題材であると考えられる。









(3) このように指導して

- 発想・構想の段階においては、補足説明をしながら読み聞かせを行ったり、本物の動物や想像しにくい言葉(きば、こぶ、いぼなど)の写真を見せたりしながら、自分の表したい様子を膨らませることができるよう、全体で話し合う時間を設ける。その後、自分のイメージした「グラフィアロ」を明確にするために、図工ノートに絵や簡単な文に表示活動を設定する。
- 表現の段階においては、登場人物が何をしているか分かるように表現できるよう支援していく。線がきでは、表したいものの大きさや位置、方向などを想像するために、いろいろな形の台紙を使って構図を考えることができるようにする。彩色では、表したいものの感じを表現するために、パスによるぼかし・重ね塗り・スクラッチなど新たな技法を紹介して自分に合うものを選ぶことができるようにする。また、その時間のめあてに沿って振り返ることができるように、友達とできたところまでの作品を見せ合い、よさや工夫を出し合う「交流タイム」を設定する。
- 鑑賞の段階においては、作品のよさや工夫を伝え合うことができるように、鑑賞の仕方を提示しながら、説明をしていく。また、作品を通して作者と鑑賞者が交流できるように、ワークショップ形式で時間を設定して、作品を説明する人と鑑賞する人に分けて鑑賞していく。

3 題材目標

- お話を聞いて、絵に表示活動を楽しむことができる。(造形への関心・意欲・態度)
- お話の内容から、登場人物の姿や周りの様子を想像することができる。(発想や構想の能力)
- 自分の表したい様子が分かるように画面構成や表現技法を工夫して表すことができる。(創造的な技能)
- 自分や友達がかいた絵を見て、よさや工夫を見つけることができる。(鑑賞の能力)

4 学習計画（全6時間）

過程 配時	学習活動	手だて（※） ふりかえり活動にかんする手だては◆で表す	児童の姿
発想 構想 ②	<p>1 想像しながら、お話を聞く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> グラファロって何か、しっかり聞きとろう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ お話の内容について話し合う。 ○ グラファロの特徴について確認する。 	<p>※ グラファロの特徴が分かるようにいろいろな動物の体の一部の写真を見せる。</p> <p>◆ グラファロの特徴を板書でまとめ、図工ノートにも記入できるようにする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ・きば ・あご ・は ・こぶ ・いぼ ・かぎづめ ・した ・とげ ・角 </div>	<p>◎ お話を聞いてグラファロの様子を話し合っている。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> おそろしいきばをもっているよ。むらさき色のとげが、せなかにはえてたよ。 </div> 
	<p>2 自分が想像したグラファロの姿をアイデアスケッチする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の考えたグラファロが何をしているところをかきたいか簡単な文に表す。 	<p>※ アイデアスケッチがたくさんかけるように用紙を数枚準備する。</p> <p>◆ 3人の活動グループをつかって自分のグラファロを友達に見せ合う場を設定する。</p>	<p>◎ 自分が考えたグラファロを何枚もかいている。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> わたしは、オレンジの目をおにのようにつりあげてみたよ。 </div>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ぼくは、グラファロのしたをのばしてみたよ。はをとがらせておそろしくしてみたよ。 </div> 
表現 ③ 本時 3/6	<p>3 自分が表したい様子を線がきする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> とうじょう人ぶつが何をしているか分かるように、大きさや場しよや方こうを考えて、線がきしよう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 表したいものの大きさや位置、方向を考える。 ○ 決めた大きさや位置、方向に気をつけて登場人物や様子を線がきする。 	<p>※ かきたい形の大きさや位置、方向を明確にするために、いろいろな大きさの台紙を準備しておく。</p> <p>※ 登場人物や周りの様子を想像できるように、グラファロ以外の登場人物の写真や森や丸太の写真を掲示しておく。</p> <p>◆ 3人の活動グループを円滑に進めることができるように、交流の仕方を提示し説明する。</p>	<p>◎ 表したいものの形、大きさ、位置、方向を考えながら線がきをしている。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ねずみは左に、グラファロは右にかいてみようかな。 </div>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> グラファロは、ねずみよりも大きくかくぞ。 </div> 
	<p>4・5 自分のイメージに合った彩色をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> じぶんのかんじに合うぬりかたで、さい色しよう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ いろいろなパスの表現技法を知り、自分が表したい技法を選んで彩色する。 	<p>※ パスの表現技法を実際に児童の前でやってみせ、黒板に掲示する。</p> <p>◆ 3人の活動グループの中で自分らしくかけたところを伝えたり、聞いたりする時間を設定する。</p>	<p>◎ 自分の感じに合うパスの表現技法を選んで表している。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> グラファロの体の色は、赤と青の重ねぬりのわざをつかおう。 </div>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> グラファロのオレンジ色の目は、ぼかしのわざをつかったよ。 </div> 
鑑賞 ①	<p>6 互いの作品を見せ合い、表現のよさや工夫を鑑賞する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 作品のよさやくふうを伝え合おう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分らしくかけたところを伝える。 ○ 友達の絵を見てよいと思ったところを伝えたり、聞いたりする。 	<p>※ 鑑賞活動を円滑に進めるために、鑑賞の仕方を提示し説明する。</p> <p>◆ 作品を通して作者と鑑賞者が交流するために、ワークショップ形式で時間を設定して作品を説明する人と鑑賞する人に分かれるようにする。</p>	<p>◎ お互いの作品のいろいろな表し方のよさを見つけて伝えたり、聞いたりしている。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> グラファロのきばがながくて、とてもこわいかんじがするね。 </div> 

5 本時の指導について

(1) 本時の目標





- 登場人物の大きさや位置、方向を考えて表すことができるようにする。 (創造的な技能)
- 互いの作品を鑑賞し、表現のよさや工夫を伝え合うことができるようにする。 (鑑賞の能力)

(2) 本時指導の重点

本時は、自分が表したい様子を線がきする時間である。そのために、以下のことを行う。

- 大きさや位置、方向を考えられるように、いろいろな大きさや形の台紙を準備しておく。
- お互いの作品のよさを認め合うために、3人グループで大きさや位置について工夫したところを伝え合うようにする。

(3) 本時の展開

学習活動	手だて (※) ふりかえり活動にかんする手だては◆で表す	児童の姿
<p>1 前時の活動を振り返り、本時のめあてを確認する。</p>	<p>※ 自分の表したいグラフィアロを明確にするために、代表児のグラフィアロのアイデアスケッチを紹介する。</p>	<p>◎ 友達がかいたグラフィアロを見て、自分のグラフィアロと比べている。</p> <div data-bbox="1007 763 1442 891">  <p>グラフィアロのきばを大きくかいているな。とげもたくさんかいていてすごいな。</p> </div>
<p>めあて とっしょう人ぶつが何をしているか分かるように、大きさや場しょや方こうを考えて、線がきしよう。</p>		
<p>2 自分が表したい様子を線がきする。</p> <p>(1) 表したいものの大きさや位置、方向を考える。</p> <p>(2) 決めた大きさや位置、方向に気をつけて登場人物や様子を線がきする。</p>	<p>※ 大きさや位置、方向を考えられるようにするために、いろいろな大きさや形の台紙を準備しておく。</p> <p>※ 登場人物や周りの様子を想像できるように、グラフィアロ以外の登場人物の写真や森や丸太の写真を掲示しておく。</p>	<p>◎ いろいろな大きさや形の台紙を使って自分が表したい大きさや位置、方向を決めている。</p> <div data-bbox="1007 1196 1453 1397">  <p>おそろしくするために、グラフィアロは画用紙いっぱいにかいてみよう。ねずみは、左下にたまごくらいの大きさでかこくかな。</p> </div> <p>◎ 自分で考他の登場人物や様子を線がきしている。</p> <div data-bbox="1007 1532 1449 1727">  <p>グラフィアロとねずみの間に丸太をおいてみようかな。ふくろうは、飛んでいるところにしよう。</p> </div>
<p>3 本時の学習を振り返り、本時学習のまとめをする。</p> <p>(1) 3人グループでお互いの作品のよさについて鑑賞する。</p> <p>(2) 全体で、大きさや位置、方向の工夫について振り返る。</p>	<p>◆ 3人の活動グループを円滑に進めることができるように、交流の仕方を提示し説明する。</p> <p>◆ 大きさや位置、方向の工夫が全体に分かるように、拡大投影機に写して説明できるようにする。</p>	<p>◎ 互いの作品を見合って、表現のよさに気付いている。</p> <div data-bbox="1007 1899 1449 2056">  <p>〇〇くんのは、グラフィアロのつめを長くかいて、おそろしいかんじがするね。</p> </div>